



# 上小っ子

## 上小の目指す授業 「自立した学習者」を育てる児童主導の授業！

国の教育政策を審議・提言する機関の「中央教育審議会」より『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現～(令和3年1月答申)が出されました。その実現にICTは必要不可欠です。本校の本年度の学校経営方針「一人一人を大切に協働すること」も本答申を踏まえたものです。本校の校内研究では「情報を取捨選択し活用できる子どもの育成～ICTの効果的な利活用を通して～」を研究テーマに進めています。昨年度はICT(一人一台端末)の積極的利活用を図り、児童の活用能力を高めました。本年度はこれまでのICTの利活用の成果を土台に、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることによって、「教師がいなくても学べる・学び続ける子ども(自立した学習者)」を育てる授業づくりにチャレンジしています。

6月24日(金)には3年1組の鈴木利基教諭が算数の研究授業を行いました。「学校から上野原駅までの一番短い道のりを知りたい」という課題を小グループで協働し、児童主導で学習を進める授業づくりに挑戦しました。一人一人がとても意欲的に学習し、本校の目指す授業の方向性を全職員で共有しました。新しい時代を生きる子どもたちのために、自立した学習者を育てる授業づくりにチャレンジしています。



## 人権の花運動 一人一人の「人権」を守る意識を高めよう！

6月16日(木)の中休みに人権擁護委員の方々が来校し、4・5年生が参加し「人権の花運動」を行いました。始めの会で校長から「人権とは、一人一人の命が守られ、幸せに生きる権利です。上小の全ての子どもたちが、元気に、なかよく、楽しく生活できるように、この機会にさらに強い心をもって『一人一人を大切に作る心』を、一人一人の『人権』を守る行動・態度を心がけましょう。」と働きかけました。その後、4・5年生の子どもたちは、メッセージを書いた風船の打ち上げを行いました。一斉に飛ばした風船は、空いっぱいには舞い上がり、子どもたちの笑顔と歓声が上がりました。その後、風船が届いた連絡は、関東各地から届いています。これを機会に、一人一人の「人権」を守る意識をさらに高めるようにしていきたいと思ひます。



## 1年生 飼育体験

1年生は、帝京科学大学の協力を得て、ハムスターの飼育体験活動(6月13日～24日)を行いました。帝京科学大学の学生さんからハムスターの飼育方法について丁寧に教えてもらい、その後は2・3人のペアでハムスターの飼育活動を行いました。生き物を大切にする心が一層育まれる機会となりました。

## 4年生 防災サバイバル

4年生は、6月21日(火)に防災サバイバル学習を行いました。当日は、上野原市役所危機管理室から4名の方々来校し、上野原市で実際に起きた過去の災害について学びました。その後、身近な物を使って災害から身を守るためのモノづくりを行いました。各クラスのグループごとに工夫してスリッパや段ボールトイレ等を完成させました。

